

仕 様 書

製品名称	MEDIAEDGE-Server R605
型番	ME-SVR-NI6R(A)

製品名称	MEDIAEDGE-Server R605 5年間ハードウェア保守付きモデル
型番	ME-SVR-NI6R(A)-Y5

製品名称	MEDIAEDGE-Server R605 7年間ハードウェア保守付きモデル
型番	ME-SVR-NI6R(A)-Y7

- ※ 「5年間ハードウェア保守付きモデル」、「7年間ハードウェア保守付きモデル」はサーバー本体にハードウェア保守をセットした製品です。電話/メールでのテクニカルサポートのために別途、基本サポートへの加入が必要です。
- ※ 通常のハードウェア保守サービスへの加入は5年間が上限です。6年目、7年目のハードウェア保守を必要とされる場合は「7年間ハードウェア保守付きモデル」を購入いただく必要があります。

■特長

- MEDIAEDGE サーバーアプリケーションを含む、関連サーバーソフトウェアをプリインストールし、MEDIAEDGE のシステム構成に合わせて、最適な状態にてお使いいただけます。
- 8Mbps/H.264 の映像なら、最大 25 本のファイル配信、ライブ中継および中継録画を同時に実行する能力を備えています。※1
 - ※1 MEDIAEDGE-Server 内蔵ストレージを使用しての当社検証結果となります。実際の配信性能は、システム構成、ネットワーク環境等により異なり、性能保証値ではありません。
- コンテンツ管理が容易
WEB ブラウザ上で動作し、コンテンツ登録、スケジュール作成、各種制御・監視などを行う「サーバーコンソール」。表示内容や操作方法のカスタマイズも可能です。データベースの内容の表示/追加/変更とサーバーサービスの制御も行います。
- クライアントのメニューを自動更新
データベースの情報から、クライアントが表示する WEB ページを作成。新しいコンテンツをデータベースに登録すると、クライアントのメニューが自動更新されます。クライアントメニューにユーザーID の入力項目を追加するようなカスタマイズも可能です。
- 再生をしながら設定変更が可能
スケジュール再生時には、配信を停止せずにスケジュールの設定、変更が可能です。
シームレス再生機能はコンテンツのつなぎ目を感じさせません。複数チャンネルの配信・管理を行うことができます。

・仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

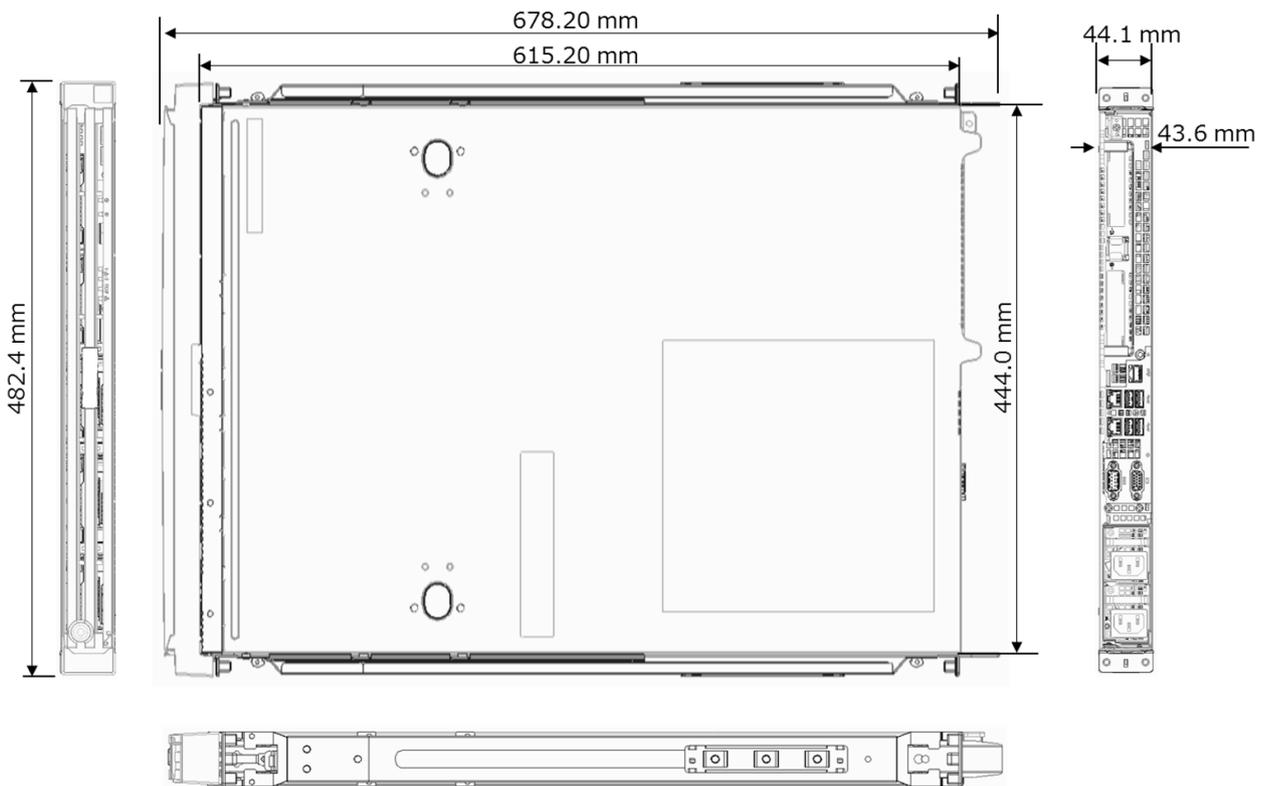
MEDIAEDGE

●ライブ配信時の同時録画も可能

ライブエンコーダボックス MEDIAEDGE-LEB シリーズから取り込んだ映像を配信しながら、サーバーに蓄積することができます。また、MEDIAEDGE-LEB からのユニキャスト映像を複数のセットトップボックスに配信する中継機能も備えています。



■外形寸法図



(単位: mm)

・仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

メディアエッジ株式会社/MEDIAEDGE Corporation
MEDIAEDGE-Server R605 (ME-SVR-NI6R(A))仕様書 L04218082801

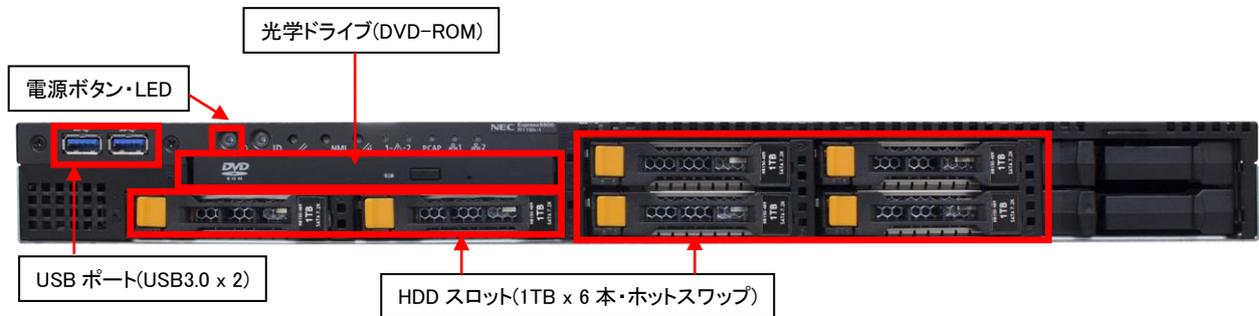
ハードウェア仕様(基本仕様)			
OS	Windows Server 2016 Standard for Embedded Systems (x64/5CAL) 日本語版		
CPU	Intel® Xeon® プロセッサー E3-1230v6(3.5GHz)		
チップセット	Intel® C236 チップセット		
メモリ	16GB (DDR4-2400, SDRAM ECC 付 Unbuffered 8GBx2)		
ストレージ	1TB(SATA 2.5"7200rpm)×6 台 RAID5+ホットスペア 1 で運用 システム容量:100GB、データ容量 3.5TB ホットスワップ対応		
光学ドライブ	SATA DVD-ROM		
ネットワークコントローラ	合計 5 ポート ・ストリーム配信/受信用 2 ポート 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 対応、RJ-45、 背面拡張スロット×2 ・リモート管理、制御用:2 ポート:オンボード(工場出荷時無効) 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 対応、RJ-45、背面×2 ・マネージメントボード専用:1 ポート(OS からの使用不可) 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 対応、RJ-45、背面×1		
インタフェース	ディスプレイ	アナログ RGBx1(ミニ D-Sub15 ピン、背面×1)	
	シリアル	シリアルポート×1(RS-232C 規格準拠/D-Sub9 ピン、シリアルポート A、 背面×1)	
	USB	USB3.0×6(前面×2、背面×4)	
消費電力 100V	消費電力(AC): 待機時 95W 高負荷時 208W 皮相電力(AC): 待機時 97VA 高負荷時 213VA 発熱量: 待機時 343KJ/h 高負荷時 750KJ/h		
消費電力 200V	消費電力(AC): 待機時 92W 高負荷時 204W 皮相電力(AC): 待機時 94VA 高負荷時 208VA 発熱量: 待機時 332KJ/h 高負荷時 733KJ/h		
最大消費電力	347VA /345W(100V 最大構成時)		
騒音レベル (待機時 / 高負荷時)	40dBA /49dBA(25°C) 、47dBA /57dBA(35°C) 測定方式:ISO7779 基準		
環境温度/湿度	温度	動作時	5°C~40°C
		保管時	-10°C~55°C
	湿度	動作時	10~85%(結露しないこと)
		保管時	10~85%(結露しないこと)
外形サイズ (WxDxH mm)	1U ラックマウント型 444.0(W)×615.2(D)×43.6(H)mm(フロントベゼル/スライドレール/突起物含まず) 482.4(W)×678.2(D)×44.1(H)mm(フロントベゼル/スライドレール/突起物含む)		
実装ラック要件	・前後にマウントアングル必要。前後のマウントアングルは 19 インチ EIA 角穴。 ・角穴取り付け部品を取り外すことで丸穴のマウントアングルにも対応 ・ラック前後マウントアングル間 600mm-820mm 必要		
質量	約 13.7kg(レール含む)		

・仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

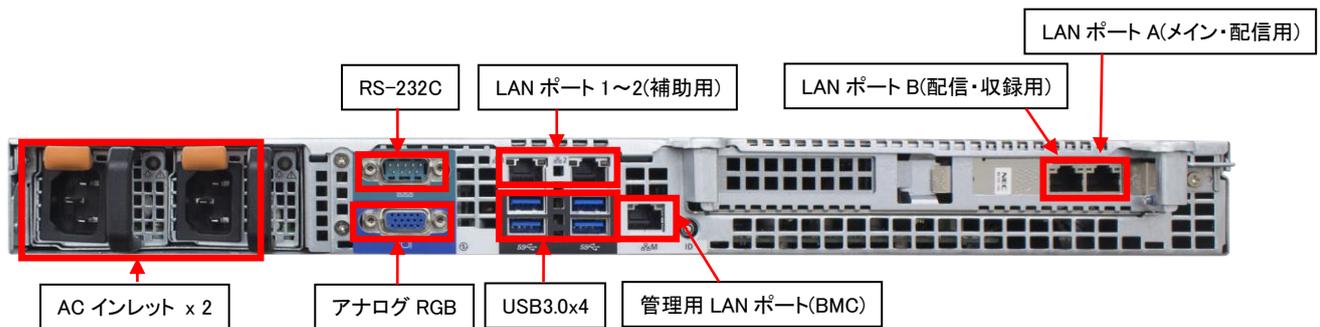
<p>主な製品構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバー本体 ・電源ケーブル×2 (二極並行アース付きコンセント) ・USB キーボード×1 ・USB マウス×1 ・フロントベゼル ・ラックマウントレール(本体に装着済み) ・丸穴ラック前面固定用フランジ(レールと排他使用。サポートアングル必須) ・リストア用起動 CD(使用には一度 WindowsServerBackup を作成していることが必要) ・取扱説明書
---------------	--

システム構成により、記載の基本仕様が変更される場合があります。

■ 前面端子説明



■ 背面端子説明



※ デコーダへの配信、エンコーダからの受信は LAN A もしくは LAN B を使用ください。
デコーダへの配信ポートと、エンコーダからの受信ポートを分けるとパフォーマンスが向上します。

※ 管理用 LAN ポート(BMC)にも IP アドレスを割り当て、他の LAN ポートのいずれか 1 つ(もしくは複数)からアクセス可能なように構成ください。ハードウェアの障害等を OS 上で確認するために必要です。

・仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

■対応形式

ビデオオンデマンド, スケジュール再生	[SD] MPEG2, H.264 [HD] MPEG2, H.264
ライブ配信	[SD/HD] H.264 (MEDIAEDGE-LEB4、LEB Pro、LEB Express、 LEB Pro2、LEB Express2)

■対応するセットトップボックス

- MEDIAEDGE Decoder
- MEDIAEDGE-STB4H
- MEDIAEDGE-STB4
- HDMA-4100

■対応する PC 用ソフトウェア

- MEDIAEDGE-SWT4
- MEDIAEDGE-SWT3

■対応するライブエンコーダボックス

- MEDIAEDGE-LEB Pro2
- MEDIAEDGE-LEB Express2
- MEDIAEDGE-LEB Pro
- MEDIAEDGE-LEB Express
- MEDIAEDGE-LEB4

・仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

■標準設定情報

コンピュータ名	
コンピュータ名	mediaedge-svr
ワークグループメンバ	WORKGROUP

ネットワーク	
IP アドレス	192.168.1.1 / 192.168.2.1
サブネットマスク	255.255.255.0 / 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ	なし
DNS サーバー	なし

DHCP サーバー	
サービス	無効
IP アドレス	未設定
サブネットマスク	

DNS サーバー	
サービス	無効
参照設定	未設定

ディスク構成
<p>1TB(SATA)の物理ディスクを6台搭載しています。 6台のうち5台をRAID-5で仮想ディスクを2つ作成し、それぞれを1つのパーティションとして割り当てています。 残り1台をグローバルホットスペアとして割り当てています。</p>  <p>The diagram illustrates the disk configuration. It shows six 1TB SATA disks. Five of these disks are arranged in a RAID-5 array. This array is divided into two virtual disks: '仮想ディスク1 (システム用) Cドライブ:約 100GB' (Virtual Disk 1, System use, C drive, approx. 100GB) and '仮想ディスク2 (データ用) Dドライブ:約 3.5TB' (Virtual Disk 2, Data use, D drive, approx. 3.5TB). The sixth disk is designated as a 'スペア' (Spare) and is labeled as a 'グローバルホットスペア' (Global Hot Spare).</p>

・仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。